



Vol.3 (4) 2023. 3.24.

(発行)NPO 大学院連合

メンタルヘルスセンター

540-0012 大阪市中央区谷町1丁目6-4

天満橋八千代ビル10階DE号

Tel.06-6755-4458 Fax. 06-6755-4459

巻頭言

—卒業をふくむ大学教育—

代表理事 三戸 秀樹

教育・学習は大学在学中だけのものなのか…?と問えば、答はそうでないと答えるだろう。そして、「学習は一生のあいだ続けるものである」との大方の答えが返ってくる。

大学の常勤職を辞めて、時に教え子の結婚式へ参じたりする。現役時代、自身が所有する海に面したセカンドハウスへゼミ生を招き、学生諸君と勉強会をしてきた。現在は、当時を懐かしむゼミ出身者が、家族と一緒に遊びにやってくる。子どもを連れてくると、何だか孫に逢っているような気持ちになる。

結婚披露宴やゼミ生一家との交流の際、その伴侶がポツリと…、「自分の大学ゼミの先生の名前を覚えていません」「ゼミの先生を結婚披露宴へ呼ぶことは考えなかった」「結婚後、子どもと一緒にゼミの先生の所へ遊びに行くなんてあり得ない」…と述懐する。聞くとなかには、自分の大学ではゼミは選択制で、必修ではないと答える。

長い目でみた時、最高学府の卒業後、大学の先生との交流は重要なチャンネルだと思う。困った時の相談と解決、さらなる次の学習・教育への手引き等…、職場と友人チャンネルのみだけでは心もとない。大学教員との交流には、打算のないアドバイスを受けることができる。ここにおいては多彩な人的チャンネルが、あればあるだけ良いと考えられる。「学習は一生のあいだ続けるものである」のだから…。

実際のところは、大学進学率の増加にともない、勉強してこなかった学生対応で大変だけれど、それを越えてゼミ指導で四苦八苦をし、結局のところは学生の全人格を抱え込みながら卒業指導をして行かざるをえないのだ。これから逃げてはいけぬ。しかし今の大学では、ゼミ制度を卒業の必須条件としない大学がかなり多くなった。卒業生たちの同窓意識の低下や、大学同窓会組織の崩壊は、このゼミ制度解消と全く無関係ではなさそうだ。大学の教育力は、大学就学中のみのことだけでもあるまい。卒業生へ向けた卒業後教育力も今後は問われる時代になる。ゼミ教員名を憶えていない卒業生が、はたして母校へ帰ってくるだろうか。格闘技のように、距離があいては、相手に“教育”という技はかからない。そうならないためにも、大学ゼミ制度は教育課程における最重要制度として大切にしたい。

小学・中学・高等学校時代に学んだ池田市へ

—安全運転管理者講習を講じて—

三戸 秀樹

1. 心理学系職域の拡大

心理学を学んだ人たちの卒業就職に関する職域拡大については、こころある先人たちが長年にわたって配慮して来られました。この流れには、産業現場における生き死にかかわる大きな課題である“安全”や“事故防止”に関係する仕事があります。ここにおいては、労働者のエラー行動と、そのエラー行動防止を念頭においた心理系職域がひろがりました。エラー行動は、労働者の“こころ”の負荷が大きければ大きいほど、エラー行動傾向が高まります。“こ

ころ”の負荷は、その人が働いている時に関与するものだけではなく、プライベートな時間帯における心配事も無関係ではありません。であれば、心理臨床を学んだ人は、この方向への関心と防止への関与があっても何らおかしくありません。しかし心理臨床を学んで、働く人における安全行動に関与する専門家は、寡聞にしてほとんど知りません。産業界への参入は、心理学の知見を有効に活用出来る大切な領域だと思います。

心理学の先輩たちから引き継ぎ、さらに太くしてきたものの一つに安全運転管理者制度における心理学からの寄与があります。道路交通法は 1960 年 6 月に公布されました。そして自動車運転の免許制度を中心に整備されました。さらに 1965 年 6 月から道路交通法第 74 条の 3 に、5 台以上の車を使う事業所では、事業所の自動車使用について、使用本拠ごとに、自動車の安全な運転に必要な業務を行う責任者としての安全運転管理者を選任して、これを公安委員会に届けることが必須となりました。さらに、安全運転管理者は毎年、法定講習を受けることが必要です。この講習において、心理学からの知見を「安全運転のための知識」として、その講習の内容へ盛り込むこととなりました。

2023 年 1 月 25 日、池田市天神 1 丁目にある池田市立文化会館・アゼリアホールという千人ほど入る会場で、安全運転管理者講習の「安全運転のための知識」について講じました。毎年の講義内容は、心理学系講師 16 人ほどで、あらかじめの検討会を開催し、年度テーマをきめ、テキストを作りあげて講習の実施をしてきました。このテーマは過去 50 余年間、同じテーマを 2 度繰り返したことはありません。このような歴史ある講師を引き継ごうと考える心理臨床の方は、現れないのでしょうか。同じテーマを 2 度と行っていない点は、常に社会における安全に関係する“こころ”問題を思料し続ける心意気と、それに関するたゆまない勉学と研究・探求心を持ち続ける人でないと到底無理だと思います。

働く人の心理相談業務の背景に、事業所における事故・災害がコトの発端であることが多く含まれます。労災データでは、不慮の事故による労災死亡とメンタル系労災死亡の比率は、12 倍多いのが事故系です。この現状から、心理相談を受けて、事故が再発しない助言が出来るのが心理学を学んだ者の責務ではないのでしょうか。

2. 越境して学んだ池田

自身の就学時期は宝塚市在住だった。当時はまだのんびりした雰囲気があったのか、越境入学はおおらかでした。住民票を池田市の教育委員長の自宅にさせていただいて、市立呉服小学校と市立池田中学を卒業し、大阪府立池田高校へ入学しました。府立池高の滑り止めには、天王寺の大阪星光学院高校を受けて合格確保を担保にしました。呉服小学校の 6 年次担任は阪本伸一先生で、現在も交流があります。池田中学では、1、3 年生の国語の先生は乾裕幸先生で、3 年次担任でもあります。1 年生の国語の時間に俳諧の授業があり、俳諧歳時記を買ったことがありました。乾先生は、この池田中学の国語教師を数年間され、次に高校の国語教師に転出され、短大の先生、そして四大の関西大学・文学部の先生になりました。終始一貫して俳諧研究者で、井原西鶴、芭蕉などの研究者でした。中 1 の折りの宿題に、「たのしみは、…」ではじまる季語無しの俳句を作ってくるようにわれました。その宿題の句は、「たのしみは、おととと二人でピンポンする時」と詠みました。卒業式当日、卒業記念にアルバム帳をいただきました。早速、乾先生のところへ行って、先生のサインをねだりました。いまでもアルバム帳を大切に保存していますが、写真は一切貼っていません。先生は、2000 年 9 月 22 日 68 歳で亡くなりました。池田市天神 2 丁目の御自宅の葬儀会場へ行くと、100 名あまりの人たちがお別れに集まっていました。先生の遺言だったのだと思います。棺担ぎに指名されていました。

池中時代の乾先生は、まだお若くて 20 代で勢いがありました。新聞部顧問をされていて、池中新聞が表彰されたりもしていました。中学 2 年生の時、担任は数学担当の O 先生でした。音楽室の掃除がこのクラスには課せられていました。音楽室の掃除に行くのですが、クラスメイトの S 君は箒は持っているのですが、ぶらぶらするだけで掃除は一切しません。注意を幾

度もして、結局、喧嘩となって、張り飛ばしてしまいました。彼の眼鏡は吹っ飛んで破損。担任 O 先生は「三戸、おまえが弁償しろ！」と申し渡しました。S 君も困ると思い、帰りに池田市の栄商店街にある眼鏡屋さんへ寄って、事情を話すとおじさんは「二人で、折半すべきだ」と言われ、翌日にそのお金を店に持参しました。この事件が影響したのだと思うが、粗暴な生徒の内申書がついて、元気な男の先生・乾先生の3年次クラスに配属されたようでした。卒業して、同級生たちと乾先生宅へ遊びに行った時、先生は「三戸、おまえは申し送りでは問題生徒だった。しかし何も問題は無かった」と述懐されました。この瞬間、自身は問題児扱いを受け、男の先生の担任クラスへ回されていたことを知りました。

今回の会場である池田市立文化会館・アゼリアホール近くの豊島北2丁目には、近畿大学医学部教員時代の教え子の自宅「尾松医院」があります。また、徒歩5分ほどの天神2丁目の正国寺は、府立池田高校時代の担任だった津田昌信先生（化学担当）のご自宅です。またの機会に触れてみたいと思います。

【参考図書】

北川睦彦,三戸秀樹 2000 労働としての自動車運転とその管理, 交通科学研究会(編)「交通安全学」大阪:企業開発センター交通問題研究室,pp.275-285.

三戸秀樹 2009 健康と安全問題—安全運転管理者制度—, 関西福祉科学大学健康科学科(編)「健康科学入門」京都:文理閣,pp.41-49.

産業福祉シリーズ講座2022(まとめ) —障がい者就労の理解を深めるために—

三戸 秀樹

障害者雇用促進法(1960年)は、身体障がいから知的障がい、そして精神障がいへと、その適用範囲を広げてきました。さらに、障がい者就労の法定雇用率は、民間企業では2013年に2.0%、2018年4月に2.2%、2021年3月からは2.3%と0.1~0.2%ずつ引き上げられました。「働く人が人間らしく生き生きと働くことが出来ること」を希求し、創設した大学院連合メンタルヘルスセンター(MHC)としては、この種の講座立ち上げが少々遅れてしまいました。急ぎ充実した講座へ育て上げる必要があります。

障がい者就労者の現状離職率からも推察出来ると思いますが、相談業務現場では、相談に来られたクライアント自身が、障がいをもたれた就労者である場合が現実のものになってきています。加えて、障がい者のカウンセラーも出現している昨今です。

1. 就労移行支援について(2022年11月26日) 講師:西尾 綾(元・ウエルビー K.K.)

わが国における障がい者福祉の方向性が、1997年から2000年にかけて大きく変化しました。その変化は、措置制度から支援制度への転換であった。すなわち、利用者自身が自分でどのサービスを受けるかを選択して、サービスの提供者との間で契約を締結し、その利用料について行政が支援する制度となった。自己決定権の尊重という意味で評価出来たが、支援費制度の対処者は身体障害と知的障害に限られていた。

障害者自立支援法が2005年に公布され、2006年に施行された。これによって、障がい者が働ける社会へと、就労支援が強化されることになり、一般企業ではたらくように福祉側からの支援ができるようになった。障害者自立支援法を改定するかたちで、障害者総合支援法が2013年に施行された。この支援法の自立支援給付のなかに訓練等給付費が含まれた。そして就労移行支援が可能となっていった。対象者は、従前の3障害に加えて、発達障害、難病等も含まれた。訓練から就労までのプロセスに、①訓練、②就職活動、③職場実習、④就職、⑤定着支援が含まれる。①訓練では、ビジネスマナー・パソコン・ソーシャルスキルトレーニング・ペン字・漢字検定・ライフスキルトレーニング・スポーツまでを含んだ。②就職活動では、履歴書の書き方・求人検索の仕方・就労条件の確認・面接練習・面接同行を含んだ。③職場実習では、体験実習という体験のみで終わるものと、雇用前実習という採用選考として行うもの

がある。④就職では、福祉的就労（A型事業所とB型事業所がある）というものは障害者手帳を取得していることが条件となる。法定雇用率は、民間事業所は2.3%、国・地方公共団体等は2.6%、都道府県等の教育委員会は2.5%となっている。なお事業規模は、従業員43.5人以上である。障害者の4年後の職場定着率は、身体障害が60.8%、知的障害が68.0%、精神障害が49.3%、発達障害が71.5%であった。

2. こはる苑における就労支援(2022年11月26日) 講師：難波 諭(こはる苑・指導員)

作業所こはる苑が、1998年に大阪市中央区谷町5丁目に発足した。その後2000年に余暇活動を支援するサークル「あっぷる」を設立。2003年に社会福祉法人こはる苑が法人認可をされ、知的障害者小規模通所授産施設が出来た。この設立時からの役員として三戸秀樹がいたが、三戸は現在、監査委員である。2005年に、移動介護のみの居宅支援事業「そよ風」がスタートした。2006年には障害者自立支援法が施行されて、法に基づいた新しい事業移行整備をおこない、移動整備・日照・採光・換気・消防法等のクリアをしていった。そして2007年に路地カフェ&ギャラリーを開設した。2010年に、新法下の「知的障害小規模通所授産施設こはる苑」を再出発させた。同時に、路地カフェにおいて菓子工房を設立した。2013年には、ショートステイ「はるの風」を開設した。

障害者の法定雇用率は、1968年に1.3%、1976年に1.5%、1988年に1.6%、1997年に1.8%、2013年に2.0%、2018年に2.2%、2021年に2.3%と増加移行してきた。そして、路地カフェにおいては、知的障害者を対象にしたカフェ店員の教育的トレーニングを実施している。障害者の福祉的就労には、A型就労とB型就労の2種に区分されている。A型就労では、雇用契約を維持して、利用者は労働者として扱われる。また、B型就労では、雇用契約はしないで、就労や生産活動機会を提供し、工賃の支払いをしている。路地カフェにおける就労支援活動は、B型就労であるとおもわれがちであるが、B型就労に至らない段階の活動に位置づけられるものである。

大阪の地は、全国のなかで障害者就労の先進的地域である。一番早かった事業所は、現在のシャープ(前身：早川電機工業K.K.)で、それは1942年に視覚障害者による工場を設立した。新しく特選工場制度が出来た際には、第1号事業所として1982年に認可をうけている。

以上の講義をもとに、質疑応答を実施して理解を深めた。

公開講座2022「現代人の“攻撃性”と孤立社会」(報告版)

—現代人の“攻撃性”表出の裏に隠れているもの—

三戸 秀樹

昨年度は、「現代人の孤独とは」(2部構成)に関する公開講座を開催し、“孤独”社会のゆくえんについて言及した。この孤独関係に次いで、今年度は「攻撃行動とその原因である“孤独と貧困”」に関する講座を開催した。

1. 攻撃性の現状と諸問題：現状把握と背景要因

攻撃行動が頻回にあらわれる場面は、対象者にしやすい弱者が存在する所や場面で出現しているのではないかと考えた。弱者へ向かう攻撃的行動について、年次変化を調べると、①施設(高齢者)における虐待、②家庭内暴力の件数、③児童虐待、④ペットへの虐待など、いづれも年をおうごとに上昇の一途をたどっていた。

近年20年間ほどの攻撃的事案について、その事案に至った行動の裏に存在していた状況・条件について、そしてその心理についての検討を行った。検討した事案は、①大阪教育大付属小事件、②JR西福知山線脱線事故、③秋葉原無差別殺傷事件、④アクリフーズ農薬混入事件、⑤やまゆり園殺傷事件、⑥巡查部長の射殺、⑦川崎市登戸通り魔事件、⑧京都アニメーション放火、⑨京王線切りつけ・放火、⑩西梅田クリニックの放火、⑪安倍晋三銃撃事件等からであった。

これら事案に共通していた事項を検討してゆくと、この裏にかくれている3つの問題要因を抽出をすることが出来た。ひとつは、①孤独・孤立問題、もう一つは②経済的圧迫の問題、そして③ストレス関与の問題であった。ただし第三番目のストレス関与の根幹においては、①孤独・孤立問題や②経済的圧迫から出て来たと推量出来るものが多い。無差別殺傷については、2013年度の法務省・法務総合研究所の報告によれば、その動機は、①自己の境遇への不満、②職業の不安定さに言及していた。この指摘は、①自己境遇への不満の中味は、孤独・孤立状態+経済的圧迫の渾然一体化したもののようでもある。そして②職業の不安定は、経済的圧迫を意味するだろう。

2. 攻撃性へ陥る心理と改善への手がかり：孤独問題と経済的圧迫

2.1.孤独・孤立について

現在のわが国は、世帯構成分類で見ると、単身世帯が38%の構成で、さらに増加傾向がみられる。また、2020年度の熟年（20年以上の結婚）離婚が21.5%で、1947年以来のデータで最高値を示した。また非婚傾向も多く、生涯未婚率も上昇を続けている。孤独死のデータにおいても、看過できない状況に近づいている。これらの結果、孤独生活者の増加傾向は依然強いと観察した。しかし、孤独が即、孤立を意味しない。したがって、孤独から孤立へ進展しないようにすることが大切である。ここにおいては、人的交流の密度高いものを常に保有することが重要で、“寄り添い”機能を失わないことがポイントである。

昨今のバラバラ家族の実態から、“寄り添い”機能を弱めている流れは一考の余地がある。ファミリー再生や、あらたなグループホーム、フラットメイティング、シェアハウス（＝擬似的家族）などの導入なども考える時期にきているようだ。加えて労働に絡む、事業所の福利厚生に関する衰退状況も拍車をかける一因であると受け止めた。

寄り添いの各種事例とその意味、東北大地震における生還例、手術を受ける際の家族待ち合室の状況など、考えるべきよすがは周囲に沢山ある。基本は、家族をバラバラにしないことで、「家族は一緒」を忘れないことが有用である。そのなか、われわれは安らぎ、極端な攻撃的行動に走らない“ところ”を保つことが出来るだろう。

“寄り添い”復活させるために、社会的包摂の重要性を強調しておくが、互助や公助の具体的制度のあり方についても検討する必要がある。

2.2.経済的圧迫について

【客観的状況】

①年収2000万円以上の人と年収200万円以下の上昇具合はほぼ同じ、②年収中流の世帯が姿を消し、高収入と低収入の人たちのみが増加、③世帯ごとの貯蓄ゼロ状況の推移を示したが、これら3つの解析データは、2008年6月に第81回日本産業衛生学会が札幌で開催され、「『人間らしい労働』と『生活の質』の調和：働き方の新しい制度設計を」シンポジウムで、大会長・岸玲子先生が講演されたものからの引用である。この時から15年ほど経過したが、この状況の傾向は一層顕著になってきているのではないだろうか。

ちなみに、子どもの貧困問題は2008年ころから注目を浴び、子ども食堂の活動は2010年代以降に活発化を始めた。さらには母子家庭における貧困問題、8050問題、生活保護の実態、餓死ケースなどが報告され、近年では高齢者のむち打ってのパート労働参画状況が伝えられている。近年のコロナ禍の3年間は、これらの状況を一層悪化させる要因となった。

【収入改善へ…】

戦後最高額になっている企業の内部留保額は516兆円を超えた。しかし一般労働者の実質賃金は、1991年から2019年の30年ちかくのあいだに、1.05倍にしかなっていないのだ。つまりほとんど上がっていないのである。一般労働者へ、事業所の利潤恩恵が及んでいないのだ。かたや、事業所の上位者たちの収入額とヒラ社員収入の乖離がはなはだしくなっている。元・日産社長のゴーンは、ヒラ社員の178.5倍の給与を得ていた。現状のわが国の上位管理職

収入と一般社員との収入差は、トヨタ自動車の場合、ジェーム・カネ-取締役は9億600万円の2022年度年間給与報酬を得、トヨタ平均年間給与が857万円なので、その倍率は105.7倍である。トヨタの労働分配率は、1998年43.4%であったが、2005年には37.1%へと下がってきているのだ。この給与体制は、子ども食堂の現状をチラ見すると、とても公序良俗に見合った給与体制であるとは言えないだろう。一般社員の100倍越えの給与を得る合理的理由は、一体どこにあるのか…。

世界には、スペイン北部のバスク地方のモンドラゴン・コーポレーションのような会社もある。経営理念は、「職場での人間らしさ」である。ここでは、従業員の給与格差は最大6倍までに抑えるルールがある。

いまやるべき事は何か。それは明確で、収入を平準化する努力である。具体的には、累進課税の本来的修正、最低賃金の決め方修正、ピンハネ就労制度の廃止などであろう。

参 考 資 料

- 三戸秀樹 1991 火災遭遇に関する心理学的考察。神戸市消防白書（平成3年版）。pp.6-8.
- 三戸秀樹 1996 火災に遭遇した人の行動とその心理。日本火災学会誌, 46(6):39-45.
- 三戸秀樹 1997 ストレスと事故の関係：これからの活動にストレス対策を。電気評論, 82(5):26-30.
- 三戸秀樹 1999 ストレスと事故の関係：これからの事故・災害対策。安全衛生のひろば, 40(2):58-62.
- 第81回日本日本産業衛生学会企画運営委員会・企画運営委員長・岸玲子 2009 「人間らしい労働」と「生活の質」の調和－働き方の新しい制度設計を考える－。東京：労働科学研究所。
- 三戸秀樹 2015 ストレス（メンタルヘルス）と事故・不安全行動の関係(7)：主人公化時代の“自助”“互助”“公助”。危険物新聞：743号, 6-7.
- 三戸秀樹 2016 ストレス（メンタルヘルス）と事故・不安全行動の関係(12)：事故行動へのパターン：製造物。危険物新聞：744号, 6-7.
- 三戸秀樹 2021 “寄り添い”復活に人々は気づくのか？ MHC会報, 1(3):1.
- 三戸秀樹 2021 本当の援助。MHC会報, 2(1):1-2.
- 三戸秀樹 2022 公開講座「現代人の孤独とは」 MHC会報, 2(4):6-8.
- 三戸秀樹 2023 労働と健康にかかる取り組み－労働の歴史的流れから回復要因をさぐる－。労働と健康, 49(1):14-17.

産業安全のこぼなし（6）

－職場の歯科検診について－

2022年4月に「労働安全衛生規則の一部を改正する省令」が公布され、10月施行となりましたが、それは「有害な業務に係る歯科健康診断結果報告書」の報告義務が課せられました。職場で、塩酸、硝酸、硫酸、亜硫酸、フッ化水素、黄リンやその他の歯または歯周組織に有害な物質を取り扱う場所で働く従業員に対して（労働安全衛生施行令第22条第3項）、雇い入れた際、配置替えの際、およびその6ヶ月以内ごとに1回、定期的に歯科医師による健康特殊健康診断を実施する必要があるとあります（労働安全衛生規則第48条）。該当する従業員が1人でもいると、歯科医師による健康診断を実施し、労働基準監督署へ報告する必要があります。

従前は50人以下の従業員がいる事業所における歯科特殊健診の報告書提出義務でした。しかし、50人以下の事業所における歯科特殊健診が低い実施率であるので、今般の改正となりました。事業者へは、50万円以下の罰則があります。歯科特殊健診の結果、有害な教務により労働者が酸触症等になっていることが認められた場合には、事業者は就業場所の変更・作業の転換・作業環境測定・設備の設置などをしなければなりません（労働安全衛生法第66条の五）。金属加工、メッキ、塗装、さび落とし等の職場における酸洗いがある職場では、特に注意が必要となります。

歯科特殊健診では、歯科医師による健診をすることだけが大切なのではなく、労働者が取り扱う有害な物質の内容、作業中の換気、マスク着用の有無など業務の状況を観察し、業務によ

って酸触症等が起きていることを歯科医師自身が判断できることが大切です。さらに、予防的措置がとれることが大切なのである。すなわち、歯科医師の労働安全衛生学の学習が大切で、「その学びを背景とした事業所への的確なアドバイスが可能となることが重要である」ことを指摘しておきます。

1985 年前後に、港湾労働研究会をいう名前で、神戸港における港湾労働の調査研究をしていました。ストラドルキャリアーという港湾ヤードにおいてコンテナを移動させる機械の労働上の問題点を調べて改善案を提案することをしていました。この際に、港湾の警備作業をする人たちからの訴えのなかに次のようなものがありました。それは、港湾のヤードにおける警備員において見つかった歯のう蝕の問題でした。彼らは、働いているあいだ中、布マスクのなかほどを横に切り、そこに差し込んだクロームメッキされた笛を口にくわえたままトラック誘導をしていました。その警備員においてみられた労働起因性の歯科う蝕の問題がありました。このような問題は、ほとんど問題視されていないまま、隠れていることがあります。

ちなみに、歯科医師自身の現在の職場においても、取り扱い物質によっては「有機溶剤取り扱い主任者資格」を有する従業員が必要となります。以上、新しいルールの施行となりましたので、職場安全のこばなしシリーズに急遽記しておきました。

【参考図書】

三戸秀樹、由良晶子、清水忠彦、細川汀、門脇一郎、山下節義、近藤一郎 1985 港湾労働者の呼吸器自覚症状と二酸化窒素暴露状態、
近畿大学医学雑誌、10:129-136、

近藤雄二、細川汀、三戸秀樹、山下節義、門脇一郎、中西耕一、石井俊一 1986 港湾荷役作業形態の変化とコンテナトラクター運転作業者の腰痛実態、労働科学、62:197-205、

(文責：三戸秀樹)

産業安全のこばなし(7)

ー頸肩腕障害についてー

手・腕・肩・首などを作業中に頻回に使うため、当該部位への労働負担問題が、キイパンチャー作業員において問題視された。このキイパンチャー作業は、1953 年に電電公社においてカードパンチシステムの採用に始まり、1957 年にはキイパンチャーたちの健康悪化が観察され、1959 年から 1960 年に手指障害としての注目を集めた。そして 1962 年に、キイパンチャー作業員が自殺をする事態となった。このキイパンチャー作業については、1964 年に労働省から作業管理基準が出されることとなった。

かたや一般商店においては、100 円、150 円、200 円といったきりのよい価格で品物が一般に売られていた。しかし 1960 年代、100 円のを 98 円で売り出す商売がスタートしたのだ。それはスーパーマーケットの開始であった。主婦たちは 98 円に群がった。大阪は、主婦の店ダイエーが大阪・千林商店街で産声をあげた。このわずかな金額差の金銭授受を間違うと儲けに繋がらないので、金銭登録機導入がすすめられ、スウェーデン製 SWEDA と米国製 NCR の金銭登録機が一般的であった。当時の小売業売上げ上位に位置していたのは、すべて百貨店であった。しかしこのマップが大きく変化をすることになった。1972 年、関西のスーパーマーケットのダイエーが百貨店を抜いて売上げトップとなった。金銭登録作業員の労働負担軽減のために、負担軽減研究は、立位作業から椅座作業へ、さらに 1979 年には、ベルトコンベア・システムを導入したチェックアウトシステムのシミュレーション研究などを実施した。そして金銭登録作業現場は、バーコード導入にともなった POS (point of sale 販売時点情報管理システム) の導入がはじまり、1985 年には POS が普及した。そして、1988 年には東京ディズニーランドにおけるレジのサイレントシステムが導入された。

さて当初の機械式金銭登録機は、キイ押圧が大きなもので 1kg を優に越すものであった。部門キイは「ヨ・キ・ミ・セ・サ・カ・エ・ル」と表示され、「ヨ」は生鮮食料品、「キ」は乾

物などと事前に決められていた。金銭キイは、それぞれの桁、すなわち「1」の桁、「10」の桁、「100」の桁ごとに0～9までの数字を、決められた指定指でして入力した。そしてその金銭登録作業中は、指先を目でみないまま商品価格のタグをみながら、ブラインドタッチで押すのであった。指定指が筋力の弱い場合、負担は必然的に大きくなった。したがって、当該作業による疲労の訴えは筋力の弱い指ほど大きく現れた。

このような事態のなか、押圧が低い電子式金銭登録機への移行が進んでいった。この移行期に機械式と電子式金銭登録機の労働負荷調査を実施して、調査研究結果をユーゴスラビアのドゥブロブニクで開催された1978年の第19回国際労働衛生会議で発表した。これ以前には、わが国ほど密度高く手・腕・肩・首などを頻回に使う労働形式が諸外国では見当たらなかったのか、頸肩腕障害に関する国際学会発表の初期のものとなった。頸肩腕障と日本国内で称した呼称も、それ以前には世界ではなかったもので、よく分からないまま Occupational Cervicobrachial Disorder と称して発表をした。加えて本国際会議では、機械式金銭登録機 (Mechanical cash register) を MCR と略し、電子式金銭登録機 (Electronic Cash Register) を ECR と略して用いることにしたが、以来、この呼称が一般化した。国内では、金銭登録作業の負担を制限するために、金銭登録機作業における作業管理基準が1973年に労働省から出た。

金銭登録作業は、元来2人構成とする作業で、金銭登録の打鍵作業をする人をチェッカーと呼び、もう1人は販売商品を袋詰めするサッカーと呼ばれる人であった。そして2人は作業交代をしながら進めることが多かった。しかしながら、金銭登録作業からの頸肩腕障害の訴えが大きくなるにつれて、正規雇用者から金銭登録作業をパート化に変えられ、頸肩腕障害の症状が大きくなると、作業者が自ら職域を去ることで、問題が表面化しない構造をもたせてしまった。

1980年代なかばから、コンピュータの端末作業であるVDT (Visual Display Terminal) 作業の問題点に注目あ集まるようになった。なかでもVDT作業による頸肩腕障害については、頸肩腕障害の先行研究があったため、比較的早くに作業管理基準へつなげることが出来た。本研究は、関西中心に先行して動いた歴史で、滋賀医科大学の予防医学教室にVDT研究会の本部がおかれた。三戸自身の初期研究は、労働現場を求めて、川崎市にあった労働科学研究所へ研究委託のあった東京都税務事務所におけるVDT労働研究に参画する機会を得た。当時のディスプレイはブラウン管方式で、液晶ディスプレイはまだ無く、緑色のモノクロ・ディスプレイであった。そして、VDT作業に関する作業管理基準は1986年に労働省から出された。

頸肩腕障害の多発職域は、キパンチャー、ピアニスト、靴底はり工、事務作業 (札勘、カードめくり、ボールペン書字、伝票複写、伝票めくり、捺印)、速記官、電話交換手、保母、タバコ包装者、金銭登録機作業、POP、美・理容師、注射作業、コンベア作業 (製菓、小包仕分け、電機)、流れ作業 (電機、製靴、製菓、ピッキング (近藤ら,1989))、検査作業、縫製、織物、引きはく、VDT作業、手話通訳者 (峠田ら,1989;近畿手話通訳問題研究会,1990)、高速道路料金所作業者 (田村,1990) などが発表されており、実に広範囲の職域において観察されている。

おわりに、頸肩腕障害は日本において1950年代の後半からみられるものでもなく、古くからあったようである。この史実に気づかれたのは、当時、名古屋大学・医学部・衛生学教室の助教授だった故・前田先生であった。何故なら、イタリアのラマッチーニが1700年に書いた「働く人々の病気」において、書記、写字生の病気としてすでに記述されており、これこそ疲労性疾患である頸肩腕障害そのものであった。

【参考図書】

三戸秀樹, 中迫勝, 西山勝夫, 八田武志, 細川汀 1974 電子レジスターの作業負担について, 住友産業衛生学雑誌, 10: 127-134.

Mito,H.,Hosokawa,M.,Nishiyama,K. & Nakaseko,M. 1979 Problems that casuse health hazards to supermarket cash register

operators. Arh.hig.rada toksikol.;30(Suppl):1259-1269.

三戸秀樹ほか 1980 チェックアウトシステムに関する調査研究。東京：店舗システム協会。

三戸秀樹 1997 VDT 労働。健康心理学辞典。pp.245、東京：実務教育出版。

三戸秀樹 1988 第 6 章 VDT 労働における皮膚温変化について。VDT 労働研究会(編)。VDT 労働と健康。pp113-116、東京：労働基準協会。

三戸秀樹 ヒューマンインタフェース研究。

Ramazzeni,B. 1700 De morbis artificum diatriba。(松藤元訳 1980 働く人々の病氣—労働医学の夜明け—。札幌：北海道大学図書刊行会)

(文責：三戸秀樹)

ニュース

● 2 月 20 日に姫路市にある事業所の中管理職向けの研修会を開催しました。交通経路は往復 7 時間ほどかけ、中国道・山崎 IC から地道へおりて事業所を訪れました。研修テーマは、「メンタルヘルスと“攻撃行動”、その対処」としました。攻撃行動の出現メカニズムについて、“攻撃”緩和機能、対応の基本について講じ、最後に孤立化する労働社会についても触れました。

事務局だより

●産業福祉シリーズ講座 2022 の外部講師は、以下のお二人でした。

西尾綾さんは、1997 年創設の関西福祉科学大学の第 2 期生で、三戸の教え子です。卒後は、ニュージーランド留学を経て、京都の関西福祉学園の働き教育センターで特別支援学校からの就労移行支援をしてこられました。その後、全国展開しているウェルビー株式会社へ移られて、烏丸支店におられました。ウェルビーでのお仕事は、精神障がいのある方の就労支援をまっぴらにされました。

難波諭さんは、社会福祉法人こはる苑の指導員です。こはる苑は、2003 年に大阪市中央区内久宝寺(谷町五丁目交差点)で法人認可を受けた知的障がい者系の施設です。その後、ここに付設された「路地カフェ」というカフェにおいて、障がい者をして喫茶店々員として働ける人材育成をされています。ちなみに、関西福祉科学大学時代に三戸がクラブ顧問をしていた書道部員たちがこはる苑のサポーターをつとめていた御縁から、お付き合いが始まった施設です。現在も、三戸はこはる苑の監査委員をしています。

●前号 Vol.3(3)に産業安全のこばなし—石綿肺について—を記した。小論には、車の整備工たちが整備をしていたプレーキシューに石綿が含まれていたことを記し、その危険性について指摘した。最近、肥料のなかに石綿を含んでいるものがあつたことを知つた。ミネラル肥料とのふれこみだったが、施肥の折りに農夫が過去に吸引した可能性は甚大であろう。

●横山源之助が記した 1899 年(明治 32 年)の「内地雑居後之日本」には、大阪工場めぐりの記録の最後にアスベスト(石綿)株式会社という事業所の名称のみが紹介されている。その後、工場法が施行されたのが 1916 年(大正 5 年)。江戸・明治時代の一 16 時間ほどの労働が、はじめて 14 時間ほどに短縮された。防塵マスクの無い時代、長時間のアスベスト暴露にあつて、その取り扱い物質の危険性を知らなかつた労働者たちは、長い潜伏期間の後に石綿肺を患い、息苦しくなりながら亡くなっていったに違いない。労働者が命を守るためには、みずから知識を学び取り、みずから命をまもることが如何に大切であろうか…。このおもむきで、MHC は発足をしています。

●第 1 回関西健康経営 EXPO が 2022 年 11 月 16 ~ 18 日にインテックス大阪で開催されました。三戸が大学時代に所長し、運営していた関西福祉科学大学付属 EAP 研究所では、2006 年から 12 月に健康経営というキーワードを使い、「こころの健康と経営戦略フォーラム」を開催し、啓発をふくめて企業人参加を促してきました。この同じ“健康経営”という表記を使つ

た第 1 回の EXPO が開催されたので、情報収集をかねて参加しました。しかし、残念ながら刮目するようなものはありませんでした。

● 2023 年 2 月 21 日に小野薬品工業 KK のビジネスデザイン部から、「労働の場における、メンタルヘルス領域の未解決課題」に関するインタビューをさせて欲しい旨の申し出がありました。事前に関連資料一式を先方へ送り、オンライン（Zoom）でインタビューを受けました。

● NPO 会計に関します「令和 4 年度ステップアップセミナー」（2023 年 3 月 14 日）へ、ドーンセンターへ出向きました。仕分けの方法や計算書類の作成方法について、またインボイス制度についての研修を受けました。

● MHC のホームページ（www.mental-health-center.jp）を開く際に、右の QR コードを活用下さい。



編集後記

● 「学問のすすめ」を書いたのは、福澤諭吉だった。福澤の言葉「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云えり」は、人としての平等思想を示しました。彼は、九州は大分県の中津藩の下級武士の息子として生まれた。当時の封建制度下で、父親は門閥による不当な扱いを受けました。彼は、大阪・中之島の中津藩邸時代をすごし、緒方洪庵が主宰する適塾の門弟となり、最高位の塾頭を務め、頭角をあらわしました。その後東京へ出て活躍をし、慶応大学の創始者としても知られています。

学問をすれば境遇が変えられると考え、その努力をして確かに変えました。下級武士からの出世は、周囲からの嫉妬を買うことになりました。しかし彼はこの難から逃れるため、それらの人々と大いに交流することで解消し、異質な者同士の交流があれば争いがなくなると説きました。彼は、Society という言葉を日本語に翻訳する際、今日のような「社会」と訳さないで、「人間交際」と訳したのです。彼は、人と人が交流することをキモとしたのであった。

本号の「巻頭言」「小学・中学・高等学校時代に学んだ池田市へ」「産業福祉シリーズ講座 2022（まとめ）」の二名の講師との関係などは、Society を社会と称さないで、人間交際と称するほうがしっくり行く感じがします。

（編集子）